

# 慶應義塾大学

## 資料請求

資料ご希望の方は大学公式HPの資料請求ページからご請求ください

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 慶應義塾大学入学センター TEL 03-5427-1566(直通) (HP) <https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/>

TOPICS

世界の学界をリードし、国内外から優秀な学生、研究者が集まる学塾へ  
創立者 福澤諭吉の「実学」の精神に基づき、  
学際的・国際的な教育・研究を行い、広く世界に貢献します。



## 慶應義塾の理念

**独立自尊——自立した人を学問で育む** 何者にも屈せず、誰にもおごらず、慣習や常識などにとらわれず、自分の良識と信念に基づいて考え行動する。同時に、他人もまた独立した個人として尊重する。慶應義塾の創立者・福澤諭吉は、そのような「独立自尊」の人を育むことを学問の狙いとししました。『学問のすゝめ』に“一身独立して一國独立す”と記され、人をつくれば必ずと国も成熟してく、という考え方に通じています。

**実学——“自分の頭で考える”学びへ** 福澤諭吉は「実学」に「サイヤンス」とフリガナをふりました。つまり「実学」とは、単なる実用の学ではなく、問題を発見し、仮説を立てて検証し、結論を導く、「実証科学」を意味しています。まだ誰も答えを見つけていないテーマを設定し、“自分の頭で考える”力を養うことは、慶應義塾大学における学びの柱です。

**半学半教——学びつつ教え、教えつつ学ぶ** 慶應義塾大学では、教員と学生、先輩と後輩などの立場を越え、学び合い教え合いともに成長する「半学半教」の精神が大切にされています。それはまた、奥の深い学問にゴールはなく、社会をリードする立場になっても学び続けなくてはならない、というメッセージでもあります。

**自我作古——前人未踏に、挑む意志** “我より古を作す”という、前人未踏の新しい領域に挑み、目標に向かって前進し続ける志と使命感を表します。日本の近代化において、いくつもの重要な事業をリードしてきた慶應義

## ■学科組織(募集人員) 注：2026年度一般入試による募集人員

- 文学部  
人文社会科学科580
- 経済学部  
経済学科600(A方式400、B方式200)
- 法学部  
法律学科230 / 政治学科230
- 商学部  
商学科600(A方式480、B方式120)
- 医学部  
医学科66
- 理工学部 650  
機械工学科 / 電気情報工学科 / 応用化学科 / 物理情報工学科 / 管理工学科 / 数理科学科 / 物理学科 / 化学科 / システムデザイン工学科 / 情報工学科 / 生命情報科学科
- 総合政策学部  
総合政策学科225
- 環境情報学部  
環境情報学科225
- 看護医療学部  
看護学科70
- 薬学部  
薬学科(6年制)100 / 薬科学科(4年制)50

塾の先人たちは、困難にくじけることなく、自ら先頭に立ち身をもってこの精神を実践してきました。

**人間交際——人との交流が人間力を培う** 慶應義塾大学には、“あらゆる学問は、人と人との交流のためにある。人と人との交流の中で、総合的な人間力が培われる”という福澤諭吉の考えに基づく「人間交際」を大切にする伝統が息づいています。それは、心を大きく豊かに育むための学びでもあります。

**社中協力——人のつながりを未来の力へ** 学生・教職員・卒業生など、目的を共有する者の集まりという意味が込められた「社中」の協力体制は、1858年の創立以来、パブリックスクール(義塾)として160年以上にわたり成長を重ねてきた原動力です。その精神は、学びの志を経済面から支える奨学制度や、さまざまな分野が柔軟に連携する総合大学としての研究環境に生かされています。



## 創立以来の伝統を受け継ぐ 活発な国際交流

日本の近代化に必要な新しい教育を、欧米視察で学んだ創立者・福澤諭吉。以来、国際交流は慶應義塾の原点となり、その成果は大学の発展に大きく寄与してきました。1学年間の「派遣交換留学制度」、夏季・春季休校を利用した「短期海外研修プログラム」、各学部独自の留学・研修協定やプログラム、私費留学など、学生が留学や海外研修を体験し、世界の人々と交流する機会は、ますます増加しています。世界から慶應義塾大学を訪れる留学生も多く、学内での国際交流も盛んです。

## 総合大学ならではの強み 多彩な教育・研究機関

各キャンパスには、設置学部に対応した個性豊かなメディアセンター(図書館)があります。約534万冊もの膨大な蔵書数を誇り、国内の大学でトップクラスの規模を誇る学術情報データベースや電子ジャーナルなどの電子資料を備えた知の宝庫です。知見を広める各種セミナーなども開催し、大学生活をサポートします。さらに、メディア・コミュニケーション研究所、体育研究所、教養研究センター、会計研究室、言語文化研究所や、そのほか幅広い領域を網羅する教育や研究の機関が充実しています。従来の学問領域にとどまらない柔軟な研究環境を構築し、産官学など自由なネットワークのもとで独創的な活動を展開しています。

## 奨学金の拡充

学業に専念できる環境を整え、良識ある知識人として活躍できる人材育成の支援を目的に、成績優秀者を対象とした奨学金、家計状況が急変した際の支援、地方出身者やグローバルな学習活動への支援など、さまざまな奨学金を用意しています。入学前予約の「学問のすゝめ奨学金」は、地方出身者を対象に550人を奨学生候補者に採用。奨学基金は総額240億円で国内最大規模、その運用により、給付型奨学金の拡充を図っています。

資料請求方法：大学HPの資料請求フォームからお申し込みください。



## 企業からの高い評価 国家試験にも確かな実績

「最も就職に強い大学」のひとつとして、常に確かな就職実績を残しています。自主性とコミュニケーション能力を備えた人材が求められるなか、その実績は、大学の理念に則した、塾生自身による学問への取り組みや、課外活動の積み重ねに対する企業の評価にほかなりません。一方で、各種資格を取得するためのサポート環境を整え、資格試験合格者数でも好成績を収めています。

### 各種試験合格実績

- 司法試験(2025年) 118人(法科大学院等別最終合格者数全国第3位)
- 公認会計士試験(2025年) 177人(51年連続全国第1位)
- 主な就職先** ベイカレント、慶應義塾、アクセンチュア、デロイトトーマツコンサルティング、東京海上日動火災保険、三井住友銀行、EYストラテジー・アンド・コンサルティング、三菱UFJ銀行、みずほ銀行、野村證券、三井住友信託銀行、EY新日本有限責任監査法人、PwCコンサルティング、野村総合研究所他多数

## 入試GUIDE (2026年度参考)

- ①一般選抜 / 全学部  
★2027年度入試より経済学部では小論文を休止します。
- ②自主応募制による推薦入学者選考 / 文学部
- ③FIT入試 / 法学部
- ④分野志向型入試 / 理工学部
- ⑤AO入試 / 総合政策、環境情報、看護医療学部
- ⑥帰国生入試 / 経済、法、医、理工、総合政策、環境情報学部
- ⑦IB入試 / 法学部
- ⑧外国人留学生入試 / 文、経済、法、商、医、理工、総合政策、環境情報学部
- ⑨PEARL入試 / 経済学部
- ⑩学校推薦型選抜(指定校による推薦入試) / 経済、法、商、理工、薬学部薬学科
- ⑪塾内進学 / 全学部

関東